

## 26年度に実施したサービス充実、事業成果等の概要

CISTEC におきましては、ここ数年の間に、情報提供、調査研究、出版、研修会、データベース、相談等の主要事業について、皆様方のニーズを踏まえた一連の改善措置を講じてまいりました。大きな改善事項については概ね実現しつつあるかと考えておりますが、この2～3年は、より中期的視点に立った取り組みを行っているところです。

以下、26年度に実施したサービス充実、事業成果等の概要と今後の予定等をご紹介します。

### 1 規制合理化実現

輸出管理は国際的な平和と安全の確保のために重要な取り組みではありますが、他方で、その運用次第では、企業の負担を重くし、国際競争力の低下につながるおそれもありますので、不断の規制見直しと継続的な緩和の働きかけが重要です。CISTEC では、関係委員会からの継続的な働きかけに加えて、CISTEC ジャーナルでも規制合理化特集を組むなど、輸出管理の目的に即して企業負担の軽減に直結する事項を中心に働きかけを行った結果、26年度は、経済産業省による立入検査運用の見直し、電子機器用冷媒規制の明確化等の成果を実現することとなりました。

#### ○ 経済産業省による立入検査運用の見直し

従来、立入検査結果については、良好に管理されている場合、特段の書面による通知がなく、被検査企業の内部管理上やりにくい面があり、書面通知を要望していたところ、書面通知する運用に改めていただきました。また、検査の準備方法についても、効率化と負担軽減の観点より検査対象の絞込みを要望していたところ、予め対象貨物や審査票等の起票事業部を特定する等調整を行う運用に改めていただきました。

本運用見直しの内容については CISTEC ジャーナルに掲載し周知を図りました。

## ○ 電子機器用冷媒規制の明確化

ハイスペックコンピュータ等、演算負荷により高熱を発生する電子機器を冷却する冷媒については、その規制範囲が、電子機器の冷媒として「用いる」液体ではなく、「用いることができる」液体となっていることもあり、他国では「非該当」である、一般のふっ素系潤滑油の多くが、日本では長らく「該当」として扱われて来ました。

このような状況に対し、要望書の発出、経済産業省との粘り強い話し合いの結果、電子機器の冷媒用として設計・製造されておらず、かつ、冷媒に使用された実例がなければ「使用できないもの」つまり「非該当」と判断してよい旨の、Q&Aを経済産業省に公表して頂きました。(平成 26 月 11 日)

## ○ 市販暗号装置・プログラムの市販前の非該当化

一般市販を目的とした暗号機能を有する製品を、市販を開始する前に国際機関での認証や、海外での接続テストなどの評価をするために輸出する際には非該当とするよう鋭意、働きかけを続けております。

## 2 中長期的課題に向けた取組みの促進

### ○ 輸出規制品目番号国際化に向けた読替表（案）の提出

輸出規制品目番号の国際化に関しては、経済産業省では制度的な制約等を踏まえて、現行政省令番号を国際標準的な番号体系である EU 規制番号へ読み替えるという形での国際化の検討が進んでいます、

CISTEC ではこの読替表（案）の具体的作成作業を続け、完成した読替表（案）を、貨物については平成 26 年 7 月に提出、役務については平成 27 年 3 月に経済産業省に提出する予定です。

今後、経済産業省による検討と国際化の実現に向けた具体的な対応が待たれます。

## 3 輸出管理実務の効率化、合理化に向けた支援

各企業での輸出管理実務の効率化や合理化をサポートすべく、該非判定その他の審査や監査等の効率化や啓発資料の充実、社員のインセンティブ向上等のための施策を講じました。

## ○ STC Advanced 資格の創設

かねてよりご要望をいただいていた、実際の輸出管理の現場に必要な問題に対応できる中堅的人材の育成と認定を目的とした中間レベルの試験コース「STC Advanced」を創設しました。

## ○ 監査支援事業のトライアル開始

CISTEC では新事業として、輸出管理に係る監査代行、監査に関する助言指導その他監査に関する支援サービス「監査支援サービス」の導入を検討しており、その本格実施に向けた準備のためのトライアルサービスを開始いたしました。

## ○ 総合データベース事業の「ガイダンスデータベース」の充実

「輸出管理品目ガイダンス（全品目、最新版）」、「図説：軍事転用可能な民生品（全2冊）」、「輸出管理ガイダンス-海外輸出管理法制度（全地域、最新版）」の最新版ガイダンス類全21冊（丸ごと1冊）の電子書籍（PDF形式）を閲覧できるようになりました。

## ○ CHASER 検索システムにおける DPL 等顧客情報のコンテンツ拡充

CISTEC では CHASER 検索システムにおける DPL 等顧客情報のコンテンツ拡充（「DPL 等顧客情報」のハイブリッド化）を目指しており、CHASER 検索システムの進化に伴い、お客様に提供できる情報が拡充され、使いやすさが向上しています。

また、会員の皆様には、偶数月に CHASER 説明会を開催し、検索性能、サービスの内容をご説明し、毎回ご好評をいただいています。

さらに、昨年10月に行われた第10回危機管理産業展 RISON TOKYO 2014 に CISTEC として初めて出展し、主に CHASER サービスについて紹介しました。

## ○ HP のコンテンツ充実

賛助会員コーナーに「経産省等の外部委託調査報告書」のコーナーを設け、武器輸出管理、制裁措置、機微技術流出などに関する情報提供をいたしました。

## ○ CISTEC サービスフェアの開催

会員の皆様に CISTEC の提供するサービスをより一層活用していただくことを目的として、各サービスの特徴、実務に役立つ利用方法、お役立ち情報などについて、担当者がわかりやすく説明する「CISTEC サービスフェア」を開催いたしました。

なお、当日聴講できなかった会員の皆様のために、CISTEC ホームページに、フェア当日のテキスト並びに音声付き動画を配信しております。

## ○ CISTEC サービスガイドブックの発行

CISTEC では、多くの有償・無償のサービスを提供していますが、それらのサービス全体を俯瞰できる構成の「CISTEC サービスガイドブック」を発行いたしました。

## 4 シンクタンク機能の充実に向けた取組み

CISTEC では、シンクタンク機能を充実させるべく、この数年努めてきていますが、26年度においては、特に以下の点に重点を置いて機能強化に努めています。

## ○ 中国の軍民融合等の最新動向の調査分析

日本にとって最大の貿易相手国である中国との取引を円滑にすることを目的として、中国の軍及び軍需産業の構造と軍事四証制度の詳細を解説すると共に中国企業などとの取引に係るリスクについて解説した「対中国輸出管理「軍事転用・拡散顧客情報分析ガイド」、ならびにその入門書「対中国輸出管理入門」を発行しました。

また、会員向けセミナー「対中国輸出管理-顧客情報収集・分析のポイント-」を開催いたしました。

さらに、中国・重慶市で開催された「第七回国際軍民両用技術博覧会」及び珠海市で開催された「第十回中国国際航空航天博覧会」にて現地調査を行い、軍民融合の最新動向を CISTEC ジャーナルでご紹介しています。

## ○ 北朝鮮制裁委員会報告書その他の違反事案のフォロー、分析

北朝鮮制裁専門家パネルによる第5回最終報告書、海外メディア等で報道されている大学・研究所関連の違反事例、米国違反事例等を調査分析して、CISTEC ジャーナルでご紹介しています。

## ○ イランの核開発動向の調査分析

イランと主要6カ国による核協議の合意内容等を紹介すると共に、国際原子力機関 (IAEA) の資料を基に合意後のイランの核開発状況を CISTEC ジャーナルで解説しました。

## ○ ロシアの調達動向等の調査分析

25年度より安全保障貿易管理の観点からロシアの調達動向等にスポットを当てて情報を収集分析していますが、26年度も引き続き、CISTEC ジャーナルでご紹介しています。

## 5 中小企業、大学向け支援事業の実施

CISTEC では、これまで、大学会員制度の開始や中小企業支援センターの設置などにより、輸出管理に関する知識・経験が浅い大学や中小企業向けの支援事業を行ってきました。26年度においても、以下のような事業を行いました。

### ○ 中小企業、大学での人材募集支援

これまで、大学での輸出管理人材募集を行う場合を想定して、その支援のために、CISTEC に登録した人材に募集情報を提供してきました。その実績は、大学だけに留まらず、企業、公共法人等もあり、6年間の累計で、61件に上り、その多くが採用に至っています。26年度には、企業向けを中心に14件の募集情報の提供を行いました (2月27日現在)。

### ○ 大学の輸出管理に関する包括的改善要請書を提出

昨年6月、CISTEC を含む主要大学関係団体・組織の連名により、「大学に係る安全保障輸出管理行政に関する包括的改善要請書」を関係3省庁の局長級宛てに提出しました。また、同要請書の写しを、大学関係の中核団体である国立大学協会にも送付し、問題意識の共有と支援を依頼しました。

また、CISTEC ジャーナルでも「大学における輸出管理上の管理のあり方」特集を組むなど、大学・研究機関自らの輸出管理に関する全般的意識向上や体制整備を促しました。

## ○ 大学への支援の継続

### (1) 大学会員制度、大学向け講師派遣の継続

平成 21 年 3 月にスタートした大学会員制度は順調に会員数を伸ばし、現在 27 大学となっています。学内セミナー等への講師派遣は 26 年度は 9 回となっています (2 月 27 日現在)。

### (2) 「輸出管理 DAY for ACADEMIA」への参加

大学・研究機関等における輸出管理啓発の促進のため開催されている「輸出管理 DAY for ACADEMIA」のパネルディスカッションで、「大学に係る安全保障輸出管理行政に関する包括的改善要請書」提出の経緯と内容を説明し、パネラーとしてディスカッションに参加する予定です。(3 月 6 日開催)

## 6 アウトリーチセミナーへの協力、参加

これまで、経産省が実施するアジア地域でのアウトリーチ活動への協力や、アジア輸出管理セミナー、国際交流分科会による訪欧・訪米ミッションの派遣等の諸活動を通じて、CISTEC 活動の紹介、国際認知度向上に努めてきましたが、26 年度は、以下のような国際セミナーの開催、講師の派遣等を行い、交流に努めました。

CISTEC を軸にした産官学の協力、交流を通じた輸出管理レベル向上の仕組みは、CISTEC モデルと呼ばれる程、国際的関心が高くなっており、CISTEC の認知度向上が、米国政府・欧州各国政府の規制にも参考にされるようになってきました。

## ○ 米国エネルギー省他主催 International Seminar への招請参加 (昨年 5 月)

米国のシアトルで開催された米国エネルギー省パシフィック・ノースウエスト国立研究所 (PNNL) 等主催の核関連セミナーに CISTEC が講師として招請を受け、CISTEC のサービス内容や、民間企業、政府、学会のリンケージチャンネルとしての機能等を説明しました。

## ○ BIS Update2014 への参加 (昨年 7 月)

米国商務省産業・安全保障局 (BIS) 主催による年に一度の輸出管理セミナー (BIS Update2014) に CISTEC が参加し、米国の輸出管理制度に関する最新動向についての情報を収集し、CISTEC ジャーナルにてその内容をご紹介しました。

○ **台湾における Workshop on Strategic Trade Controls への招請参加  
(昨年 9 月)**

米国戦略国際問題研究所 (CSIS) が台湾の台北で開催した輸出管理 Workshop に CISTEC が講師として招請され参加し、安全保障輸出管理の経済効果に関するプレゼンテーションを行い、好評を得ました。参加者は台湾当局、大学のほか、ASEAN 諸国、米国、欧州、中国、韓国政府や関連組織等でした。

○ **オランダにおける Defence Export Conference への招請参加 (昨年 10 月)**

オランダのアムステルダムで開催された Defence Export Conference に CISTEC が講師として招請を受け、その機能や日本における最新動向に関して説明しました。日本の経済産業省と CISTEC 両スピーチに関しては深い関心が寄せられました。

○ **訪欧ミッションの派遣 (昨年 11 月)**

26 年度は、平成 25 年 7 月に EU 加盟を果たしたクロアチア政府を初めて訪問し、交流範囲の拡大に努めた他、長く交流関係のある EU、英独政府当局を訪問し親交を深めました。また、民間では、独シーメンス社、英 EGAD (産業団体)、ベルギー FPI (研究機関) も訪問し有意義な意見交換・情報交換をいたしました。

何れの訪問先も暖かく丁寧な対応であり、長年継続して来たミッションの成果として CISTEC は国際的に十分な知名度を得ていると認識されました。

デュアルユース品目に対する EU 輸出管理制度改革の最新動向を入手し、その内容を CISTEC ジャーナルに詳しく報告する等、意義深いミッションとなりました。

○ **英国での IBC セミナーに参加 (昨年 11 月)**

英国のロンドンで毎年開催される欧米政府、主要企業、著名コンサルタント・法律事務所が参加する輸出管理セミナーに参加し、欧米の輸出管理最新情報を入手すると共に、輸出管理関係者とのグローバルなネットワーク構築に努めました。

○ **ドイツにおける輸出管理セミナーへの招請参加（昨年11月）**

ドイツ政府が国連の協力を得てドイツのフランクフルトにて開催した不拡散セミナーに招請され参加し、顧客懸念情報取得のベストプラクティスとして CISTEC の CHASER データベースの紹介等を行いました。

○ **オーストリアにおけるカーネギー国際平和財団主催 NSG Workshop への招請参加（本年1月）**

オーストリアのウィーンで開催されたカーネギー国際平和財団が主催した今後の NSG のあり方（新規メンバー、意思決定等）に関して議論する Workshop に招請参加しました。

○ **第22回アジア輸出管理セミナーの開催（本年2月）**

26年度のセミナーは、2月中旬に CISTEC 主催の下、元防衛大臣の森本教授や米国商務省安全保障産業局ウルフ次官補等、多彩な有識者によるパネルディスカッション等も企画・実施され、22回目のセミナーとして成功裏に終了いたしました。